

池田国昭

安倍政権の「亡国の政治」 続けさせるわけにはいきません

「集团的自衛権」「消費税増税」「原発再稼働」「TPP」どれも国民の5~7割が反対です。国民の声に耳を貸そうとしない安倍政権を退陣に追い込み、平和・暮らし・民主主義を大切にする新しい政治へ全力を尽くします。

「命綱になれなかった」 悔しさ忘れることなく

8年前の選挙の最中、「仕事がなく、国保税が払えない。工場を閉めざるを得ない。」という相談者に「選挙後、伺います」と約束して、投開票日翌日に急いで駆けつけましたが、自死されていました。二度とくりかえしてはならないと誓いました。

初心忘れず、力を尽くします

34歳に初当選して以来、7期28年。

国民の苦難軽減を立党の精神とする日本共産党の議員として、多くの方々に支えられて頑張ってきました。

4年前、みなさんのご期待に応えられず2議席に後退させてしまい、市民の日々の暮らしに寄り添い、守りきれぬ強力な議員団が必要だと痛感する毎日でした。

今度は失敗できません。

初心を忘れずに、力を尽くす決意です。

引き続きの応援を、どうぞよろしくお願い致します。

戦争する国づくり
消費税増税10%は許しません



毎週火・土曜日
松本駅前での宣伝活動
をする池田議員

プロフィール

1952年長野県中野市生まれ。信州大学理学部数学科卒。在学中は、社会には「資本家」と「労働者」という階級があることを学び、日本の侵略戦争に命がけで反対し、「国民が主人公」の立場で社会変革を目指す日本共産党を知り入党。また、学生自治会委員長として学生運動、平和運動に参加。卒業後に党の専従職員に。しんぶん「赤旗」の仕事に従事。現在)明るい民主市政をつくる市民の会事務局長、中信勤労者医療協会(松本協立病院)顧問、日本共産党中信地区委員長、松本市議団長(家族)妻 息子2人と妻の母親と5人暮らし

